

令和5年度 社会人講座 シラバス

1. p558 中国語 . . . P 2
2. p559 ロシア語 . . . P 3
3. p560 ハンデル . . . P 4

社会人向け講座（中国語） （特別授業）	単位数	2単位（21時間 90分授業）
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	環日本海諸国の言語の基礎を学習し、簡単な日常会話ができるようにすると共に、各国の人とのコミュニケーションを図るための能力を身につける。		
使用教材	『しゃべっていいとも中国語』（朝日出版社）	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	発音1（音節、声調）	音節の基礎知識、声調の発音方法 韻母、声母の書き方及び発音方法 声調記号の位置 発音の総合練習 「こんにちは」「また明日」 「ありがとう」「お久しぶりです」 出迎える 歓迎パーティー
	発音2（単母音、複母音）	
	発音3（子音（1））	
	発音4（子音（2））	
	第1課 第2課	
	第3課 第4課	
後期	第5課 第6課	タクシーに乗る 宿泊する 道をたずねる ショッピングをする おしゃべりをする 料理を注文する チケットを買う マッサージ インターネット・カフェ 電話をかける
	第7課 第8課	
	第9課 第10課	
	第11課 第12課	
	第13課 第14課	
	第15課 第16課	
総まとめ		

3 評価

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習の過程において、ある話題に関する表現に必要な中国語の知識及び技能を身につけている。授業内の学習活動やテストで知識の習得と技能の向上を図り、評価する。	目的や場面、状況などに応じて必要な知識・表現を的確に選び、中国語で表現し、伝え合う力を身につけている。授業中の取組、発言等で評価をする。	授業に主体的・協働的に取り組もうとすると共に、学習の目標を達成するために工夫している。授業中の取組、発言、ノートやレポートにおける記述等で評価をする。

社会人向け講座（ロシア語） （特別授業）	単位数	2単位（21時間 90分授業）
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	環日本海諸国の言語の基礎を学習し、簡単な日常会話ができるようにすると共に、各国の人とのコミュニケーションを図るための能力を身につける。		
使用教材	『ロシア語へのパスポート』 （白水社）	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	Lesson1（1～3回目） Lesson2（4～5回目） Lesson3（6回目） Lesson4（7～8回目） Lesson5（9回目）	アルファベット、発音 「…は、…です」「…は誰ですか」 人称代名詞 肯定・否定・疑問文 名詞の性、ロシア語の歌など 数の表し方
後期	Lesson6（10～11回目） Lesson7（12～14回目） Lesson8（15～18回目） Lesson9（19～20回目） Lesson21（21回目）	動詞の現在 「誰々」のところに 動詞の格とは？ 前置格 数詞・時間の言い方

3 評価

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習の過程において、ある話題に関する表現に必要なロシア語の知識及び技能を身につけている。授業内の学習活動やテストで知識の習得と技能の向上を図り、評価する。	目的や場面、状況などに応じて必要な知識・表現を的確に選び、ロシア語で表現し、伝え合う力を身につけている。授業中の取組、発言等で評価をする。	授業に主体的・協働的に取り組もうとすると共に、学習の目標を達成するために工夫している。授業中の取組、発言、ノートやレポートにおける記述等で評価をする。

社会人向け講座（ハンゲル） （特別授業）	単位数	2単位（21時間 90分授業）
	履修区分	選択履修

1 科目の概要

学習目標	環日本海諸国の言語の基礎を学習し、簡単な日常会話ができるようにすると共に、各国の人とのコミュニケーションを図るための能力を身につける。		
使用教材	『和韓・韓和辞書』	補助教材	なし

2 授業計画と学習内容

学期	授業計画	学習内容
前期	1 Lesson1	あいさつ、発音 丁寧語 尊敬語 否定語 復習
	2 Lesson2	
	3 Lesson3	
	4 Lesson4	
	5 Lesson5	
後期	6 Lesson6	過去表現 映画 数字 文化紹介
	7 Lesson7	
	8 Lesson8	
	9 Lesson9	
	10 料理	

3 評価

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習の過程において、ある話題に関する表現に必要なハンゲルの知識及び技能を身につけている。授業内の学習活動やテストで知識の習得と技能の向上を図り、評価する。	目的や場面、状況などに応じて必要な知識・表現を的確に選び、ハンゲルで表現し、伝え合う力を身につけている。授業中の取組、発言等で評価をする。	授業に主体的・協働的に取り組もうとすると共に、学習の目標を達成するために工夫している。授業中の取組、発言、ノートやレポートにおける記述等で評価をする。